

学会参加レポート

群馬大学大学院理工学専攻
小林研究室 M1 沙磊

学会名：2019 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems

期間：2019年8月19日～2019年8月21日

開催地：栃木県日光市

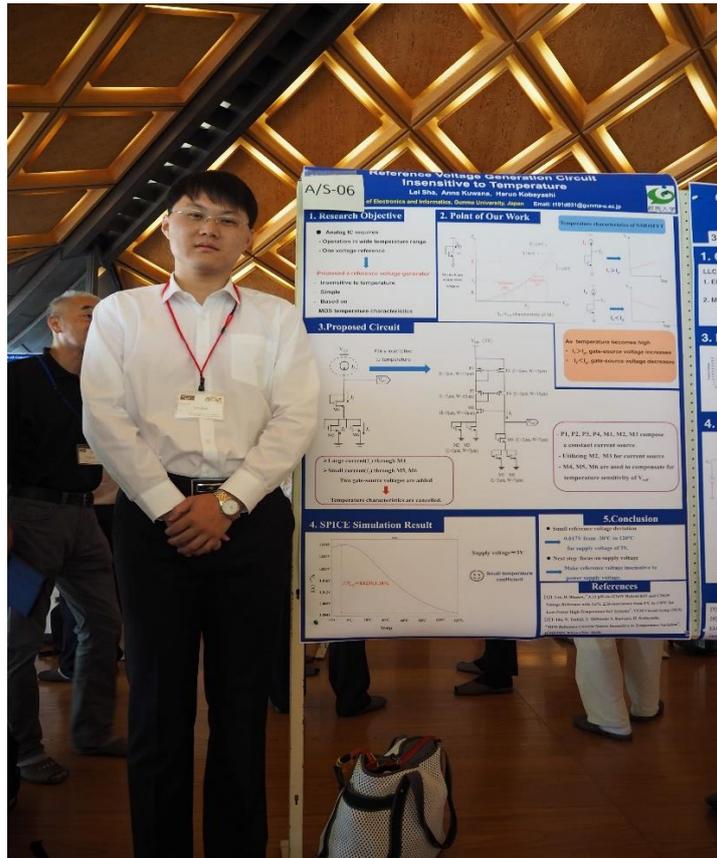
私は、8月19日から8月21日の三日間、日光学会に参加し、アナログ回路の基準電圧に関する「Reference Voltage Generation Circuit Insensitive to Temperature」についてポスター発表しました。

今回の学会では、台湾からのたくさんの研究者と交流しました。AD変換の他に、アナログ回路の設計とテスト、CMOSの製造工程や信号処理手法なども学びました。

自分の課題、基準電圧の温度補償回路については、企業の方から色々なアドバイスをもらいました。例えば、PMOSとNMOSの具体的なパラメータを設定すること、バンドギャップ・リファレンス回路と比べることなど。また、電源電圧に依存する問題に対して、基準電圧からフィードバック回路に接続してみたり、差動回路に変えてみたりすればどうするかなど。これからはこれらのアドバイスによって、現在の回路を改善したいと思います。そして、英語の会話能力はもっと上手になるように練習したいと思います。



日光東照宮



発表の写真

一方、学会の交流だけではなく、日光の自然風景を楽しんで、日本の歴史も学びました。貴重な体験であったと思います。

最後、ポスターをご指導くださった小林先生、学会手続きをしてくださった桑名先生にお礼申し上げます。